



教育目標
 明るく思いやりのある子(きよく)
 進んで学ぶ子(かしこく)
 健康でねばり強い子(たくましく)

7月に新聞に掲載された作文は、4作品

今年度も子ども達の作文を新聞に投稿しています。7月に新聞に掲載された作文は、4作品です。一学期でなんと、31作品が掲載された事になります。

授業の中で書き上げた作文や日記として書かれた文を応募しています。子ども達のキラキラと輝く感性が素敵です。

迫力のある豊年祭

5年 小川幸志朗

皆さんは、松田区の豊年祭を見に行ったことがありますか。松田区の伝統ある行事の一つです。ぼくは、この豊年祭を宜野座村のじまんにすいせんします。すいせんする一つ目の理由は、豊年祭は、松田区だけでなく、宜野座区、そけい区、漢那区と宜野座村各地で行っているからです。豊年祭は、旧暦の八月十五日を中心に行っているそうです。

二つ目の理由は、豊年祭の演目には色々な芸能がひろうされ、おもしろいからです。宜野座村内では、十種類以上の芸能があるそうです。

三つ目は、松田区の豊年祭は、伝統が引き継がれているからです。豊年祭では、三十四才以下の若い青年会の人々が舞台に立ち、踊りや組踊りなど迫力のある演技をひろうします。その若い方々に演技を教えるのが、地域の先ばい方なのです。

以上の三つの理由から、宜野座村のじまんの一つに「豊年祭」をすいせんします。

(琉球新報 7月5日掲載)



かわいい野菜ベビーリーフ

5年 島田琉志

私は、宜野座村のじまんとして、「ベビーリーフ」をすいせんします。

すいせんの理由は三つあります。

一つ目は、宜野座村のベビーリーフは栽培する際に農薬を使用していないことを皆さんに伝えたかったからです。農薬を使用していないので安全で安心して食べることができます。

二つ目は、形がかわいらしいことです。色々な種類があるし、普通の野菜より小さいけれど、みずみずしいからです。

三つ目は、なんといってもおいしいことです。クラスのみんなにインタビューすると

「新鮮でおいしいよ。」「グッド!」という人が大半をしめます。中には「苦い。」という人もいますが少数です。

以上、三つの理由から、宜野座村のじまんの一つに「ベビーリーフ」をすいせんします

(琉球新報 7月13日掲載)



おはし 正しくもちたい

2年 しまぶくろ りあん

今日、きゅうしょくセンターのあおい先生がきょうしつにきて、おはしの正しいもちかたをおしえてくれました。

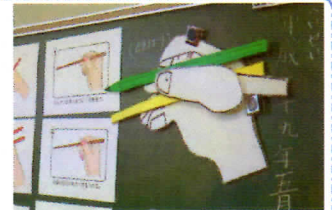
さいきん、がいこく人が日本の和食がヘルシーでおいしいので、よくかんこうにくるそうです。

でも、そんながいこく人がみて、日本人はほとんどが、おはしの正しいもちかたができていないそうです。だから、がいこく人に、おはしのもちかたが「へた。」といわれることがあるそうです。

わたしは、これからはおはしの正しいもちかたのれんしゅうをして、おはしを上手につかえるようにしたいとおもいます。

正しいおはしのもちかたをおしえてくれたあおい先生にもありがとうと、いいたいです。

(沖縄タイムス 7月19日掲載)



三線むずかしい

5年 大城匡矢

「三線、むずかしいな。」

今日から、総合的な学習で三線の授業がスタートしました。

まず、講師の島田先生から三線の持ち方を教えていただきました。

「三線を持つ時は、頭から四十五度位かたむけて、右のふとももの辺りに置くように。」

と、島田先生が言いました。

先生は、三線を正しく持ち、「渡りザウ」という曲をお手本で弾いてくれました。

「すごいなあ。僕も練習したら、先生のように弾けるようになるかな。」

と思いました。

僕は、自信を持って弾くと、曲のと中まで、きちんと弾くことができたのでうれしかったです。

でも、まだ指を見ながらしか弾けないので、練習して、前を向いて弾けるようにがんばりたいです。

時間があるときに練習して、上手になったところを島田先生にみてほしいです。

(琉球新報 7月30日掲載)

